

施策マネジメントシート(平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成 28 年 6 月 27 日

基本 目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	子育て健康課
				課長	高野 一男
施策	3	子育て支援の充実	関係課	教育課(生涯学習推進)	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	①町内の子ども ②保護者・子どもを授かろうとする夫婦	①心身ともに健やかに育つ。 ②安心して子どもを産み、育てられる。		1	子どもの健康増進	町内の子ども	健康に育つ。
				2	子どもの発達支援	町内の子ども	保護者の不安を解消する。
				3	子育ての精神的負担の軽減	保護者・子どもを授かろうとする夫婦	子育ての精神的な負担が軽減される。
				4	子育ての経済的負担の軽減	保護者・子どもを授かろうとする夫婦	子育ての経済的な負担が軽減される。
				5	子育てと仕事の両立	保護者・子どもを授かろうとする夫婦	子育てと仕事を両立できる。

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じる保護者の割合	%	実績値	88.1	92.8	89.0	85.0	89.5		
	B	定期健診受診率 (1歳6か月児/3歳児)	%	目標値	94.1/98.3	94.3/88.7	91.3/88.4	98.3/94.0	92.5/95.0	89.6	90.0
	C	子育て支援団体数、会員数	団体、人	実績値	2/34	3/49	4/44	4/41	4/39		
				目標値		3/54	4/60	4/60	5/70	5/70	5/70
	D	第1希望の保育所に入所できなかった乳幼児数	人	実績値		8	12	21	8	0	
				目標値		10	10	10	0	0	0
	E	出生数 合計特殊出生率	人	実績値	104/1.27	92/1.23	102/1.40	88/1.36	82/ -		
				目標値		100/1.27	96/1.31	92/1.35	88/1.40	84/1.44	80/1.48
	F			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方 実績値の把握方法	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握(18歳未満のお子さんがいる方が対象) ※自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合。 B) 定期健診の受診率が安定して高ければ、早期の発達支援に繋がると考え成果指標とした。 主管課が把握 C) 保護者と子どもが利用しやすい環境を構築すれば、子育ての負担軽減に繋がると考え成果指標とした。会員数とはスタッフ数のこと。 主管課が把握 D) 数値が低くなれば、安心して子どもを産み育てられるようになっているといえるため成果指標とした。 主管課が把握 E) 数値が高まれば、安心して子どもを産み育てられるようになっているといえるため成果指標とした。 人口動態統計による※1月～12月の数値(出生数の速報値6月中旬発表、合計特殊出生率は9月発表)										

目標値設定の考え方	A) 平成23年度数値を未就学児がいる世帯に限り算出すると93.1%であり、過去4年間の数値はほぼ横ばいといえる。そのため成り行き値は平成23年度数値の88.1%で推移。すでに高い数値であり、今後大幅に増加させることは困難と考えるが、子育て支援サービスを充実させるなどして平成29年度90%をめざす。 B) 成り行き値は、対象人数が少なく実績にばらつきがあり、数値が見込みにくいいため実績の平均値で設定。目標値は、利根沼田平均の水準である成り行き値2%増の維持を目標とする。【県平均:93.7%/92.1%(H23)、利根沼田平均:96.4%/93.9%(H23)】 C) 団体数・会員数は増加しており子育て支援の拠点が広がっている。平成24年度に1団体増えたことで、成り行きでは3団体54人で推移。平成25年度に水上地区に1カ所開設予定、更に保護者が利用しやすい身近な距離にある拠点を開設する必要がある、平成29年度5団体70人以上をめざす。 D) 入所できない実績値は月夜野保育園を第1希望とする児である。今後とも月夜野地区の保育の需要集中が想定されるため、成り行きでは10人で設定する。平成27年度までに施設の整備計画を実現させ第1希望の保育所に入所できるよう改善をめざす。 E) 国勢調査等の数値から判断して、成り行きでは毎年5人づつ減少で推移。減少人数を毎年4人に抑制し、平成29年度80人以上をめざす。子どもを産み育てる両親が実感できる子育て支援策を実現し、合計特殊出生率は利根沼田平均値1.48をめざす。【国平均:1.39(H23)、県平均:1.41(H23)、利根沼田平均:1.48(H23)】										

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割					2. 行政(町、県、国)の役割				
	① 子育てについての不安解消、情報交換、ストレス解消等ができる仲間づくりを積極的に進める。 ② 基本的な生活習慣や規範を身につけさせたり、定期健診や予防接種などを受けさせるなど、親としての責任・義務を認識して子育てに取り組む。 ③ 子どもたちに声をかけたり、子どもを育成する活動に参加したり、子どもを見守る活動に協力するなど、地域で子育て支援に関わる。					① 定期健診や予防接種など健康増進を実施する。 ② 地域社会が子育てをあたたく見守る体制の基礎をつくる。 ③ 保護者への経済的な支援を行う。 ④ 子育てと仕事の両立を支援する。 ⑤ 悩みごと相談など、すべての親がゆとりを持ち、安心して子育てできる環境をつくる。				

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?					2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?				
	① 平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が施行され、保育園、幼稚園の保育料改定や給付費・交付金管理等に伴うシステムの導入は整備された。しかし、この新制度の細部がまだまだ不十分だったり、また消費税率引き上げ時期延期による財源を確保することが条件であり、税率改正の動向によっては施策を取り巻く状況が変化する可能性がある。 ② 子どもが徐々に減少している。 ③ インターネットや携帯電話・スマートホンの普及など、青少年を取り巻く環境が急激に変化している。(情報の入手が容易、悪影響を与えるものが増加) ④ 母子保健法改正により、「子育て世代包括支援センター」を平成32年度末までに設置するよう努めなければならなくなった。					① 子育て支援に対する要望が増えている。また、病後児保育やファミリーサポートなど、保育ニーズの多様化に対応できる質の高い保育体制が求められている。 ② 少子化のため近所に友達がいない状況であり、地域子育て支援センターのような親子で集まれる場所や気楽に相談できる場が求められている。 ※町民アンケートによると、出産や子育てに対する不安の内容は、Ⅰ経済的な負担81.0%、Ⅱ子育てと仕事の両立43.5%、Ⅲ子どもの成長・発育34.5%となっている。また、自由記述欄には、子どもの遊び場整備、保育施設・内容の充実、生活支援の充実などを求める意見がある。				

施策	3	子育て支援の充実	主管課	名称	子育て健康課
				課長	高野 一男

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☒ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は、平成26年度85.0%から平成27年度89.5%と上昇しており、依然として比較的高い水準にある。地区別にみると、月夜野地区で高い割合(95.0%)となっており、つきよのこども園が平成28年4月開園をしたことによるなどの保育の充実が要因と考えられる。 ②出産や子育てに不安を感じている保護者等の割合が、平成26年度69.7%から平成27年度65.2%と4.5ポイントの減少傾向に変化している。景気の上昇が感じられず、また就労環境の改善が進展していないことなどが要因として考えられる。地区別にみると、月夜野地区65.9%、水上地区64.9%、新治地区64.2%と、月夜野地区で高い割合となっている。 ③出生数は平成26年88人、平成27年82人と6人減少し、出生率は平成25年度5.1‰、平成26年度4.5‰と低下している。また、合計特殊出生率については平成25年度1.40から平成26年度1.36に下降しており、依然として晩婚化や未婚化の進展が大きな要因と考えられる。
	② 他団体との比較	☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☒ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①平成26年の1歳6か月児健診受診率は、県96.1%、本町98.3%であり、近隣市町村では、沼田市96.8%、片品村93.8%、川場村93.1%、昭和村96.3%であった。3歳児健診受診率は、県95.1%、本町95.0%であり、近隣市町村では、沼田市96.1%、片品村95.8%、川場村100.0%、昭和村98.3%であった。 ②定期健診は、1歳6か月児健診受診率が目標値を上回っているが、本町での3歳児健診受診率が他市町村より低い理由として、本町に住所を有する外国人が、健診時期に町に居住していないため、健診に来られないことが理由の一つと考えられる。 ③平成26年の出生率は、全国8.0、県7.5、本町4.5で県内35市町村中29位となっており、下位に位置する。近隣市町村では、沼田市7.2、片品村5.1、川場村4.9、昭和村7.1となっている。 ④平成26年の合計特殊出生率は全国1.42、県1.44、本町1.36で県内35市町村中17位となっており、中位に位置する。近隣市町村では、沼田市1.67、片品2.75、川場1.44、昭和1.37となっている。 ⑤子育て支援センターの年間利用者数は平成27年度は6,685人であり平成26年度の9,026人と比べると減少している。しかし、沼田市や昭和村でも存在するが、みなかみ町は施設・設備・スタッフ・支援内容が充実、利用者の声を直接反映しているため依然人気の声がたえない。要因としては町外利用者の減少、保育園利用者の増加などが考えられる。
	③ 目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☒ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☐ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は、目標値89.3%に対して実績値は89.5%と上回った。要因として、子ども・子育て制度移行に伴い保護者負担金の変更や就園奨励金の一部廃止、月夜野地区の幼稚園・保育園がこども園に移行することにより不安を感じる人が増えると思われたが、1号認定児童の保育料無償化や月夜野地区の幼稚園・保育園児の保護者に対して丁寧に説明会を開催し理解してもらったことなどが考えられる。 ②子育て支援団体数は、目標値5団体に対し実績値4団体と下回ったが、現在は平成28年4月につきよのこども園内の「さくらんぼルーム」などで子育て支援に対応している。会員(スタッフ)は目標値より31名下回っている。 ③第1希望に入所できない児童数の実績値は0人となり、目標値を達成することができた。月夜野幼稚園、下牧分園、月夜野北幼稚園、月夜野保育園が廃園となり、平成28年4月からつきよのこども園が開園し、就労により3歳未満児から保育が必要になる家庭のニーズに対応できたことが要因と思われる。
成果実績に対する総括		①にはいるこども園2階に開設している常設の子育てひろば「汽車ボッポ」において、子育てについての相談や援助を行い親子の交流の場を提供。また、月1回保健師のミニ講座を開催。年間利用者数は、平成25年度8,864人、平成26年度9,026人、平成27年度6,685人であり、減少はしているが高い水準の実績となっている。 ②不妊治療助成事業については、平成27年度では13件の補助を行った。うち7件の妊娠が報告されている。 ③のびのびサークルは、きめ細かな療育が行えるよう年齢を分けて月2回開催。平成27年度参加延人数は、3歳未満児が139人、3歳以上児が122人であった。 ④ママヨガ教室は、上の子の保育ができるよう、平成24年度からみなかみ町地域子育て支援センターに会場を移動し、参加し易いよう別の事業の共催事業として開催した。(年間延べ参加人数／平成26年度：妊婦25人、産婦87人／平成27年度：妊婦31人、産婦92人) ⑤平成25年度にNPO法人喜童愛楽が子育てひろばを湯原地区に、平成26年度には認可外保育所を鹿野沢に開設し、平成27年度は46人の利用者がおり軌道に乗りつつある。 ⑥子育て世代の定住化を促進する目的で平成24年12月から子育て家庭住宅新築補助金制度を開始。平成26年度は2件の申請(繰越2件)、平成27年度は6件の申請があった。 ⑦食育推進事業として小学4～6年生を対象としたキッズクッキング教室や小学1～6年生を対象とした親子料理教室を開催し、570人の小学生、親の参加があった。幼稚園、こども園でおやつ作り教室を開催し、楽しく作る事や食べ物の話題をする子どもに成長するように無理のない食育を実践した。 ⑧青少年による通学時間帯に学校の校門付近であいさつ(声かけ)を行う「あいさつ運動」を平成23年度より実施。平成27年度は3回(6、10、3月)実施し、ほぼ全員の方が参加。地域で青少年を見守るという意識付けができた。 ⑨社会福祉法人三峰会がつきよのこども園を平成28年4月開園できるように新園舎建設及びこども園運営の支援を行った。 ⑩あんしん出産子育てサポート携帯アプリ『みなこ』にAndroid版のほか、新たにiPhone版を追加し、H27年度末時点で総登録件数は86件であった。	

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名		今後の課題	平成29年度の取り組み方針(案)
	1	子どもの健康増進	①乳幼児健診について保護者から要望の声があるため、健診体制の改革が必要である。 ②ここ数年、予防接種の種類が増え、予防接種の副作用等の問題も取り上げられているので保護者への正確な情報提供が課題である。	①健診時の順番待ちの時間を短縮したり、子どもをあやす玩具を用意するなどの工夫をしていく。 ②新しい情報提供の手段として、「あんしん出産子育て支援アプリ(みなこ)」を活用し、母子健康手帳交付、新生児訪問、乳幼児健診等で直接母親に説明しながら周知する。またメール相談にはできるだけ早く返信できる体制をとり、母親の不安の軽減を図る。乳幼児健診や予防接種、子育て支援情報など定期的に更新し、最新情報を伝える。
	2	子どもの発達支援	子どもの発育・発達に不安を感じている保護者の支援をするため、育児相談や発達相談会等を充実させていく必要があり、保護者の不安を解消するために相談会が適時に開催できるよう小児科医師、臨床心理士、言語聴覚士などの専門職を継続して確保できる体制を整えていくことが課題である。	保護者の身近な相談相手となる保健師や言語聴覚士等の専門職を常勤で確保するため、職員としての計画的採用を検討する。
	3	子育ての精神的負担の軽減	①身近な地域で子育て親子の交流機会を提供する場や、子育ての情報を得る場が少ない。 ②児童虐待を未然に防ぐ環境を整備することなどが課題である。	①子育て支援センター、子育て支援団体を中心にしたネットワークづくりを推進し、親子の居場所づくりである子育て拠点を各地区にバランスよく設置し充実したい。また、新たに活動を考えている団体や個人を支援し子育て支援の充実を図りたい。 ②児童虐待問題をもっと住民に知ってもらうために地域・保育園・学校等の関係機関と連携を図る。
	4	子育ての経済的負担の軽減	①児童手当などのほかに、町単独の出産祝金、入学支援金、子育て家庭住宅新築補助などをはじめ多くの子育ての経済的負担の軽減策を講じてきているが、子育て家庭への周知が不十分である。	①現在、実施している子育て支援策を取りまとめ、子育て家庭へ解り安く伝わるような工夫を凝らし、町ホームページ、「あんしん出産子育て支援アプリ」、リーフレットを活用し広報の充実を図る。
	5	子育てと仕事の両立	①子育てと仕事の両立が厳しい環境にある保護者が増加し、希望する保育施設に入れる環境整備のため、平成25年度よりつきよのこども園の建設に向け準備を始め平成28年4月に開園した。今後はわかくりこども園を含めて健全で安定した運営ができるように検討し支援することや保育の質の向上などが課題である。	①保護者の入所希望に沿った保育施設の整備が必要であり、子どもが快適で安全に過ごせる施設が整備されたので、平成29年度もつきよのこども園・わかくりこども園が健全で安定した運営ができるように検討し支援していく。

03 子育て支援の充実

03-01-000008			担当組織		子育て健康課 健康推進グループ		事業費		100,212 円					
親と子の料理教室事業					予算科目	会計	一般会計	款	4衛生費	項	1保健衛生費	目	2予防費	
事業概要	事業の意図	料理を作る事に関心を持ち準備、後かたづけに参加する。食事を家族そろって食べることで、食に関する話題や食体験を家族で共有する。					平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
							食事作り準備や後片付けにかかわる子どもの割合			86		%	×	有効性
													○	効率性
													○	公平性
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	①おやこの料理教室の日程及び内容の検討			課題とその解決策	①学校行事や地区行事の日程があり、開催できる日数が限られてくる。②夕食の時間に合わせた時間の設定						

03-01-000009				担当組織			子育て健康課 健康推進グループ			事業費		15,618円						
親と子の食体験講習会事業				予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費		
事業概要	事業の意図	ア子供が食事の準備や片付けに関わる機会を増やす。イ食事の内容について気をつけている割合を増やす。						平成27年度				単位	評価結果	○ 目的妥当性				
								食事の準備や片付けをする子どもの割合				94		%	×		有効性	
															○ 効率性			
															○ 公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	園行事で保護者が参加する回数が増え、保護者の負担が大きくなっているので、子どもだけで実施できるように内容を変更して実施した事により、自分で作る喜びや完成したときの喜びが増し、調理することに興味がわいたと思う。				今後の改革改善案	①私立幼稚園、保育園、こども園との調理保育の連携 ②公立幼稚園、こども園の給食時における園児に対する食育活動 公立の幼稚園、こども園、保育園は実施しているが、私立こども園、保育園では未実施である。				課題とその解決策	①私立保育園、こども園における調理保育の実施にあたり衛生面、安全面へのリスクを回避するための方法の構築 ②幼稚園、こども園の指導計画や食育計画に基づき職員間で共通理解を進め園の状況に応じての活動体制の構築						

03-01-000010			担当組織		子育て健康課 健康推進グループ			事業費		790,000 円						
ロタウイルス予防接種費用助成事業			予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費	
事業概要	事業の意図	ロタウイルス感染症による症状の重症化を防ぐ。併せて、予防接種に係る保護者の経済的負担の軽減を図る。					平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性		
							ワクチン接種率				68		%	×	有効性	
														×	効率性	
														○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	任意接種であり、接種費用が高額になることから、接種をためらっている保護者もいる。	今後の改革改善案					課題とその解決策	保護者及び事務担当者の負担を減らすため、償還払い方式から請求方式に変更するため、医師会理事と打ち合わせを行い、次年度から実施できるようにする。							

03-02-000001				担当組織				子育て健康課 健康推進グループ				事業費		318,640 円							
発達相談会事業				予算科目		会計		一般会計		款		4衛生費		項		1保健衛生費		目		2予防費	
事業概要	事業の意図	発達相談会：保護者が子どもの発達段階に見合った育児に取り組める。保護者の育児不安の軽減。コンサルテーション：障害児および行動が気になる子どもに職員研修への具体的な支援方法がわかり取り組める。				平成27年度						単位		評価結果	○ 目的妥当性						
						発達相談会参加者数(実)						18			人		× 有効性				
																	○ 効率性				
																	○ 公平性				
																	総括と今後の方向性		全体総括		今後の改革改善案

03 子育て支援の充実

03-02-000002			担当組織			子育て健康課 健康推進グループ			事業費		1,014,619円	
のびのびサークル事業			予算科目	会計	一般会計	款	4衛生費	項	1保健衛生費	目	2予防費	
事業概要	事業の意図	集団遊びを通じて集団の中で適応できるようになる。 体のバランスを整えることができるようになる。	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性		
			のびのびサークルに参加してよかったと思う保護者の割合				100		%	○	有効性	
										○	効率性	
										○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	教室の内容的には充実し、軌道にのってきている。	今後の改革改善案	参加を中断してしまう子どもたちやお誘いから参加つながらない子たちのフォローアップを考えていく必要がある。				課題とその解決策	・専門職との調整 ・事業費の増加			

03-02-000003			担当組織			教育課 生涯学習推進グループ			事業費		306,000円	
子ども会育成団体連絡協議会活動支援事業			予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	子どもたちの交流によって協調性のある心が育つ。	平成27年度				単位	評価結果	×	目的妥当性		
			児童生徒・役員参加数(延べ)				552		人	×	有効性	
										○	効率性	
										○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	子ども会活動を活発にすることにより、心豊かな生き生きとした、健全な子ども達が育つことが目標。負担金は郡子ども会育成の運営事業であり、かるた大会が中心である。各町村の子ども会活動の発展につなげられるよう協力。	今後の改革改善案	子どもが減少しているなか、現状維持で対応しているところに無理もあるが、役員・保護者の協力により行事への参加者を増やしていく。				課題とその解決策	各町村子ども会委員が減少しつつあるが、連絡調整や体験活動事業を通して、互いの情報交換をしながら育成会の発展を図る。			

03-02-000004			担当組織			教育課 生涯学習推進グループ			事業費		635,214円	
青少年育成推進員連絡協議会活動支援事業			予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	子どもが非行に走らないよう地域で青少年を見守る。	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性		
			推進員による夜間等の補導件数				0		件	×	有効性	
										○	効率性	
										○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	パトロールの回数の見直し。「地域のために」という推進員の意識を向上させるための研修の実施。	今後の改革改善案	①推進員の意識向上のための研修 ②警察の少年補導員との連携				課題とその解決策	青少年を取り巻く環境への理解、(携帯のフィルタリング等)それぞれの地域での活動内容の充実。研修会開催			

03-02-000005			担当組織			教育課 生涯学習推進グループ			事業費		1,026,877円	
放課後子ども教室事業			予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	6社会教育費	目	1社会教育総務費	
事業概要	事業の意図	安全で安心な場所で過ごせる。色々な活動を楽しく体験・習得できる。子どもを見守ってもらえて安心できる。地域の人との交流を持つことができる。	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性		
			参加児童数				337		人	×	有効性	
										○	効率性	
										○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	安全管理員の努力により活動はますます充実してきているが、それに反して年々補助金が減額されてきている。予算がなくても今と同様の活動を続けていける体制づくりが必要である。地域の実情に合わせた運営のため、対象学年や実施回数などが教室によって異なっているが、現状では統一することは難しい。保険料や教材費・おやつ代は参加者が公平に負担している。	今後の改革改善案	大変充実した活動ができているので、補助金がなくなっても同様の活動を続けていける体制づくりを行う。				課題とその解決策	安全管理員の謝金は、かける時間と手間暇を考えると現状でさえわずかなものののに、なくなってしまったらどれだけの人が今までと変わらずに協力してくれるのか。最終的に補助金はなくなるという前提のもと、少しずつ経費を削減するよう努め、理解を求めていく。			

03 子育て支援の充実

03-03-000001			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		173,000円			
母子会活動支援事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費	項	2児童福祉費		目	3母子福祉費
事業概要	事業の意図	母子会の活動を支援することにより母子家庭同士の交流を促進し、母子家庭の生活の充実を図る。		今後の改革改善案	今後も事業を継続し、ひとり親家庭支援担当と連携しながら会員数を増やしていきたい。		課題とその解決策	平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
								イベント参加人数		89		人	○	有効性
													○	効率性
													○	公平性
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案		課題とその解決策		ひとり親の数に対して会員数はまだまだ少なく、母子会の周知が引き続きの課題。							

03-03-000002			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		7,440,000円			
子育て支援センター管理運営事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費	項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費
事業概要	事業の意図	ゆとりをもって子育てを楽しんでもらう。		今後の改革改善案	利用者の要望に添った運営を今後も継続していきたい。運営に余裕を持たせるため、スタッフの増員を図りたい。		課題とその解決策	平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
								来場者延べ数		6,685		人	○	有効性
													○	効率性
													○	公平性
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案		課題とその解決策		スタッフ増員をしたいが、募集をしても見つからない現状がある。長い目で見れば、ボランティアの育成が効果はあるが、現状打破は難しい。							

03-03-000003			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		3,545,000円			
子育て支援団体活動奨励事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費	項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費
事業概要	事業の意図	安心して、地域の子育て支援に取り組める。		今後の改革改善案	水上地区の拠点づくりを引き続き推進していきたい。また、つきよのこども園のひろば運営について、助言等ができるような体制を整える。		課題とその解決策	平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
								子育てひろば参加者延数		1,784		人	×	有効性
													○	効率性
													○	公平性
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案		課題とその解決策		居場所づくりは、マンパワーが必要であり、現状としては不足している。水上地区については子育て支援センターが週1回出張ひろばを開設しており、一定の利用者は確保できているが、子育てボランティアの育成が進んでいない。							

03-03-000004			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		円					
要保護児童対策地域協議会事業			予算科目		会計			款			項			目		
事業概要	事業の意図	要保護児童等の早期発見や適切な支援を行い、虐待をやめさせ児童の健全な発育を促し、健全な家庭にする。		今後の改革改善案	児童虐待の早期発見のため関係機関との連携を強化する。児童の生命を最優先するため、児童虐待通告から24時間以内に教育機関、司法機関、児相等の関係機関の職員が目視するようにする。また、虐待になる前の予防策も必要であり、保護者等への児童虐待防止のための啓発活動が重要。		課題とその解決策	平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性			
								終結したケース件数		10		件	○	有効性		
													○	効率性		
													○	公平性		
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案		課題とその解決策		担当職員は専門的な知識や資格が無い状況で、あらゆるケースに関係機関と協力して対応していかなければならない。専門的な心理系資格(臨床心理士・臨床発達心理士等)や福祉系資格(社会福祉士・精神保健福祉士等)を持つ複数の職員が心身ともに余裕を持って、子育て健康課保健師と協力しつつ、これらのケースに関わるのが適切と思われる。									

03 子育て支援の充実

03-03-000006			担当組織			子育て健康課 健康推進グループ			事業費		100,431 円								
乳児家庭全戸訪問(おめでとう訪問)事業						予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費	
事業概要	事業の意図	育児等に関する不安の軽減。支援が必要な家庭が適切なサービスにつながる。	平成27年度										単位	評価結果	○	目的妥当性			
			おめでとう訪問に来てもらってよかったと思う母親の割合										76		%	×	有効性		
																○	効率性		
																○	公平性		
総括と今後の方向性	全体総括	訪問先が新しい家だと、場所が把握しづらいため、情報提供書に地図を添付するようにした。訪問先の様子や気になる事がある場合は連絡してくれた保健推進員も何人かおり、今後はさらに保健推進員との連携を密にしていきたい。	今後の改革改善案	保健推進員が訪問時に気になる事があれば、保健師に連絡をするように呼びかける。				課題とその解決策	・保健推進員を対象とした研修会の充実。・「おめでとう訪問」と保健推進員を住民に周知する。										

03-03-000007			担当組織				子育て健康課 健康推進グループ		事業費		30,726 円											
新生児訪問事業					予算科目		会計		一般会計		款		4衛生費		項		1保健衛生費		目		2予防費	
事業概要	事業の意図	育児に対する不安を軽減し、安心して子育てしてもらおう。							平成27年度				単位		評価結果	○ 目的妥当性						
									出産や子育てに不安を感じていない町民の割合				30			%		○ 有効性				
		○ 効率性																				
		○ 公平性																				
		総括と今後の方向性		全体総括		今後の改革改善案		子どもの出生数も地区によりバラツキがあるが、原則地区担当保健師が訪問することを継続。里帰り先から戻らない等の理由により、すぐ訪問できない場合も電話連絡は早めに行い、新生児の状況把握や、育児不安の解消を図れるようにしている。人材確保ができれば、雇い上げの助産師・保健師等に依頼することも検討。										課題とその解決策		地域に雇いあげ出来る助産師や保健師等の人材がいない。		

03-03-000008			担当組織				子育て健康課 健康推進グループ				事業費		128,544 円									
両親学級事業						予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費				
事業概要	事業の意図	妊娠・出産・育児に対する知識を身につけられる。両親学級を通じて仲間づくりができる。						平成27年度					単位	評価結果	○ 目的妥当性							
								両親学級参加妊婦数 延					59		人	○ 有効性						
																○ 効率性						
																○ 公平性						
																総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案		仕事を持っている人は、平日だと参加しにくい。第1子の時参加すると、第2子以降の参加は少ない。妊娠の安定期での開催の為には年間3コース程度の開催が必要である。	

03-03-000009			担当組織				子育て健康課 健康推進グループ				事業費		105,650 円									
ベビーマッサージ事業			予算科目		会計		一般会計		款		4衛生費		項		1保健衛生費		目		2予防費			
事業概要	事業の意図	・ママとあかちゃんがリラックスできる。・母親同士の交流がはかれる。								平成27年度				単位		○		目的妥当性				
										参加人数 (延)				80		人		評価結果	○		有効性	
																			○		効率性	
																			○		公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	教室は軌道にのり、毎月の参加者数が安定してきた。お母さんがゆったりした時間を過ごし、気軽に助産師に相談するようになってきた。		今後の改革改善案		現状維持				課題とその解決策		ここにこくらぶスタッフとの協力体制の充実。										

03 子育て支援の充実

03-03-000010			担当組織				子育て健康課 健康推進グループ		事業費		95,232 円						
ママヨガ教室事業			予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費		
事業概要	事業の意図	妊娠・出産・母乳育児に対する知識を身につけられる。ママヨガ教室を通じて仲間づくりができる。							平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性		
									ママヨガ教室妊婦延べ参加者数			31		人	○	有効性	
															×	効率性	
															○	公平性	
															総括と今後の方向性	全体総括	子どもがお誕生になったため終了した人も次の子を妊娠した事で早期から参加していた。ママヨガ参加をきっかけに参加者同士で情報交換や交流が出来ていた。

03-03-000011			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		116,723 円				
夏休み幼稚園開放(みんなの広場)事業			予算科目	会計	一般会計	款	10教育費	項	5幼稚園費		目	1幼稚園総務費	
事業概要	事業の意図	親子の交流の促進につながり、子育てをより楽しめる					平成27年度			単位	評価結果	×	目的妥当性
							また利用したいと思った割合			100		%	×
		×	効率性										
		○	公平性										
		総括と今後の方向性	全体総括	・地域や社会状況を考慮し、親子の交流や保護者同士の交流が図れるように場を提供し、子育て支援の充実に繋げていくことは大切であるが、閉園ということで携わる施設・人材が無い。		今後の改革改善案	事業廃止 (H28.3.31 月夜野幼稚園・下牧分園・月夜野北幼稚園 閉園のため)		課題とその解決策				

03-03-000014			担当組織			地域整備課 都市計画グループ			事業費		50,000 円						
蟹杵児童公園管理運営事業						予算科目	会計	一般会計		款	8土木費		項	4都市計画費		目	4公園費
事業概要	事業の意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする								平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
										管理上の不具合、トラブル発生件数			0		件	×	有効性
		○	効率性														
		○	公平性														
		○															
総括と今後の方向性	全体総括	樹木の剪定作業を臨時職員にて行った。定期的な管理を続ける必要がある。遊具の安全規格値が変化しており、古い遊具は規格外となっているが、更新できなかった。基礎の露出部を埋めた、定期的な管理が必要。			今後の改革改善案	樹木の良好な状態を保つため、定期的な管理を続ける必要がある。遊具の安全規格値が変化している。規格外の古い遊具を計画的に更新する。遊具使用に伴い、基礎が露出するので、定期的な点検埋め戻し作業が必要。			課題とその解決策	臨時職員により樹木の剪定等実施しているが、専門知識を持っている人材の確保が必要となる。遊具更新計画を策定し、予算を確保する。遊具定期点検要領を策定し、定期的な点検対応をとる。							

03-03-000015			担当組織			地域整備課 都市計画グループ			事業費		209,840 円									
真政河原児童公園管理運営事業			予算科目		会計		一般会計		款		8土木費		項		4都市計画費		目		4公園費	
事業概要	事業の意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする。								平成27年度				単位	評価結果	○ 目的妥当性				
										施設維持管理上の不具合 ・トラブル発生件数						0	件	× 有効性		
		○ 効率性																		
		○ 公平性																		
総括と今後の方向性	全体総括	隣接農地に悪影響を及ぼしている樹木 (10m程のコナラ5本) の伐採を業者に委託し実施した。樹木の小規模な剪定作業を臨時職員にて行った。定期的な管理を続ける必要がある。遊具の安全規格値が変化しており、安全領域が不足しているが、対応できなかった。基礎の露出部を埋めた、定期的な管理が必要。		今後の改革改善案	樹木の良好な状態を保つため、定期的な管理を続ける必要がある。遊具の安全規格値が変化している。規格外の古い遊具を計画的な更新や撤去をする。遊具使用に伴い、基礎が露出するので、定期的な点検埋め戻し作業が必要。		課題とその解決策	臨時職員により樹木の剪定等実施しているが、専門知識を持っている人材の確保が必要となる。遊具更新計画を策定し、予算を確保する。遊具定期点検要領を策定し、定期的な点検対応をとる。												

03 子育て支援の充実

03-03-000016			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		0円					
子ども・子育て会議運営事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費	
事業概要	事業の意図	町の子育て支援策を充実させるため、より多くの委員の意見を引き出す。							平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
									会議開催回数			0		回	×	有効性
		○	効率性													
		○	公平性													
		総括と今後の方向性		全体総括	昨年度に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、今年度は各事業を進めてきた。当会議については、県からの助言もあり、当該年度の評価・見直しは次年度に見送った。また、昨年10月にまちづくりビジョンをベースに策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に少子化の項目が加えられたことにより、当会議における検討課題のひとつと思われるが、総合戦略担当課との調整不足から、会議にかけることが出来なかった。			今後の改革改善案							次年度については、H27年度評価、検討し、必要により見直しを行う。また、少子化対策について広く意見を求めるため、当会議でも検討する。町内の公立幼稚園がすべて廃園になったことから、委員から削除する。	

03-03-000018			担当組織		子育て健康課 健康推進グループ			事業費		665,876 円							
あんしん出産子育て支援アプリ管理事業			予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費		
事業概要	事業の意図	①住民がアプリに登録する。②住民がアプリに登録し、機能を利用したり情報を取得したりする。	平成27年度						単位		評価結果	○ 目的妥当性					
									登録情報の閲覧率			100		%		○ 有効性	
																○ 効率性	
																○ 公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	26年度導入作業を行い、27年度からは管理事業として、アプリの周知、利用拡大を図る。	今後の改革改善案	無し						課題とその解決策	無し						

03-04-000001			担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		8,070,000 円		
出産祝金支給事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費
事業概要	事業の意図	子育て家庭の出産時の経済的負担を軽減し、子どもの健全育成を図る。							平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
									出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合			79		%	×
		○	効率性												
		○	公平性												
		○													
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	国の経済的支援に変化は見られず、当制度は現状維持していきたい。また、町独自の制度であることをアピールし、町の子育てイメージの向上を図る。					課題とその解決策	窓口で申請書を受付する時に町の独自事業であることを説明することを徹底し、各支所でも同じ対応が出来るようにする。					

03-04-000002			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		8,260,000 円					
入学支援金支給事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費	
			子育て家庭の入学時の経済的負担を軽減する。							平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合										79	%	×	有効性			
												○	効率性			
												○	公平性			
												○				
事業概要	事業の意図															
総括と今後の方向性	全体総括	例年どおり無駄なく確実に事業を進めることが出来た。事業を継続することにより、町の子育て支援策の充実につなげたい。また、商品券で支給することにより、町内の商工業者の活性化につながっている。		今後の改革改善案	特別な問題点はない。					課題とその解決策	特になし。					

03 子育て支援の充実

03-04-000003			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		233,678,554 円					
児童手当支給事業			予算科目	会計	一般会計	款	3民生費		項	2児童福祉費		目	2児童措置費	
事業概要	事業の意図	生活の安定と児童の健全育成及び資質の向上。					平成27年度			単位	評価結果	○ 目的妥当性		
							出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合			81		%	○ 有効性	
													○ 効率性	
													○ 公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	平成28年1月1日施行のマイナンバー制実施に伴う事務処理、児童手当システム改修も含めて、問題なく事務ができた。		今後の改革改善案	平成29年度以降に現況届の申請手続きが電子申請になる予定。平成28年7月頃に内閣府からこの件について具体的な制度改革の内容が発表される予定。それに合わせて、「みなかみ町児童手当事務処理規則」の改正、児童手当システムの仕様変更のための予算が必要になる。				課題とその解決策	「みなかみ町児童手当事務処理規則」の改正、児童手当システムの仕様変更のための予算が必要になる。				

03-04-000004			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		円				
児童扶養手当支給事業			予算科目	会計		款		項		目			
事業概要	事業の意図	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する				平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
						受給者数(年度末時点)			138		人	○	有効性
												○	効率性
												○	公平性
												総括と今後の方向性	全体総括

03-04-000005		担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		円				
特別児童扶養手当支給事業		予算科目		会計		款		項		目			
事業概要	事業の意図	精神または身体にある一定の障害がある20歳未満の児童を養育する方へ手当を支給する					平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
							事務取扱交付金		59		千円	○	有効性
												○	効率性
												○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	制度について、パンフレット等で該当者に説明ができるようにしておく。障害の種類により、申請書類がどのように変わってくるか、把握しておき、該当者に伝えるようにする。					課題とその解決策	障害認定や養育手帳更新について、障害福祉担当課や保健師と情報交換をし、受給者に不利にならないよう、努める。受付時に必要な診断書様式や手当額が毎年改正があるため、パンフレットや様式を常に最新のものを窓口に準備しておく。				

03-04-000006			担当組織			子育て健康課 健康推進グループ			事業費		8,370,840 円					
妊婦健康診査助成事業			予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費	
事業概要	事業の意図	妊婦健診の費用が軽減でき、定期的に健診を受けられる。							平成27年度			単位	評価結果	☐ 目的妥当性		
									妊婦健診を受診した延べ人数			1,209		人	☐ 有効性	
															☐ 効率性	
															☐ 公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	妊娠届け出後、転出を予定している妊婦については、受診券の差し替えについて充分説明を行う必要がある。母子健康手帳交付は曜日を決め、お知らせしているが、転入妊婦については随時来るため、保健師が不在の可能性はある。		今後の改革改善案	妊娠届け出後、転出を予定している妊婦については、受診券の差し替えについて充分説明を行う必要がある。転入妊婦への受診券については随時実施。		課題とその解決策	転入妊婦で、事前に問い合わせがあった場合は母子健康手帳公布日を紹介。 保健師が不在だった場合は電話連絡を行う。								

03 子育て支援の充実

03-04-000007		担当組織		子育て健康課 健康推進グループ		事業費		1,094,000 円														
不妊治療費助成事業		予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費								
事業概要	事業の意図	不妊治療を受け、妊娠につながる						平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性								
								不妊治療後の妊娠届件数			7		件	×	有効性							
														○	効率性							
														○	公平性							
														総括と今後の方向性		全体総括	年齢が若いうちに治療する方が、妊娠に結びつく可能性が高い。そのため年2回まで申請できるようにし、なるべく早期に治療できる体制を整えた。					

03-04-000008		担当組織		町民福祉課 窓口・医療グループ		事業費		8,753,270 円								
出産育児一時金支給事業				予算科目	会計	国民健康保険 特別会計	款	2保険給付費	項	4出産育児諸費	目	1出産育児一時金				
事業概要	事業の意図	安心して出産することができる						平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性			
								出産や子育てに不安を感じている割合		65		%	○	有効性		
		○	効率性													
		○	公平性													
		総括と今後の方向性		全体総括	平成22年10月から平成32年3月までの時限措置として支給額を4万円引き上げになっていたが、4月以降も継続することになった。さらに医療機関への直接払い制度も21年10月から開始され被保険者の負担軽減に繋がっている。								今後の改革改善案	・現状維持		

03-04-000009		担当組織				町民福祉課 窓口・医療グループ		事業費		153,323,132円																																			
福祉医療費支給事業										予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	1社会福祉費		目	4福祉医療費																							
事業概要	事業の意図	医療費に係る経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにする。														平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性																						
																1人あたり医療費				4,390		円	○	有効性																					
		○	効率性																																										
		○	公平性																																										
		○																																											
総括と今後の方向性	全体総括	受給者（保護者）の経済的負担の軽減を図り、子育て支援や社会福祉の向上に寄与できている。														今後の改革改善案	平成22年度税制改正による年少扶養控除及び特定扶養控除の上乗せ部分の廃止に伴い、母（父）子家庭福祉医療費受給資格認定要件が変更となるので、今まで所得税が課税だった者が非課税となる場合が出てくる。よって平成24年8月1日より医療費の拡大が見受けられる可能性がある。（第3 第2項 第6号）														課題とその解決策	将来的に医療の高度化等により福祉医療費の支給が増加した場合は、所得制限導入や、一部負担金導入を検討する必要が出てくる。対応としては、健康づくり事業との連携により福祉医療費の増加の抑制に繋がるようにしていかなければならない。													

03-04-000010		担当組織		町民福祉課 窓口・医療グループ			事業費		814,621 円							
未熟児養育医療給付事業		予算科目		会計	一般会計		款	4衛生費		項	1保健衛生費		目	2予防費		
事業概要	事業の意図	医療費の給付を行うことにより、経済的な負担を軽減し、安心して医療が受けられるようにする。						平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性	
								1人あたり養育医療費				407		千円	○	有効性
															○	効率性
															○	公平性
															総括と今後の方向性	全体総括

03 子育て支援の充実

03-04-000011			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		7,000,000 円											
子育て家庭住宅新築補助金交付事業						予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費			
事業概要	事業の意図	子育て家庭の住環境の整備を推進し、定住を促進する。						平成27年度				単位	評価結果	○		目的妥当性					
								出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合						79		%		○		有効性	
																		○		効率性	
																		○		公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	今年度は、前年度繰越の2件、当該年度申請の6件申請がり、当初予算の範囲内で補助金を交付した。雪が少なく、工期延長による繰越もなかった。		今後の改革改善案		事業開始から3年が経過し、対象(増改築、町外契約業者等)や金額について検討する余地がある。		課題とその解決策		補助金額が高額なため、制度改革は時間的余裕を持って行う必要があり、周知も早めに行う必要がある。											

03-04-000014			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		0円				
幼稚園就園奨励費補助金交付事業			予算科目		会計	一般会計	款	10教育費	項	5幼稚園費		目	1幼稚園総務費
事業概要	事業の意図	幼稚園への就園機会の確保公・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正	平成27年度						単位	評価結果	○	目的妥当性	
			幼稚園対象年齢の幼稚園就園率						26		%	×	有効性
												×	効率性
												○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	本事業の実施は、幼稚園就園児のいる家庭への経済的支援に結びついている。H27年度からは新制度へ移行する園は対象とならないため、申請者がいなかった。	今後の改革改善案	平成27年度は、町内及び隣接の沼田市などで新制度に移行しなかった園がなかったため、就園奨励費の対象者がいなかった。今後とも対象者がいない場合、この事業の要綱を町に残しておくべきか、検討が必要。					課題とその解決策	近隣市町村では、新制度に移行しない園がないようなので、申請者がいない年が続けば、この事業を廃止するべき。万一、住民が前橋市等の新制度に移行しない園に通う場合も、保育所ではないため、町で負担の軽減措置をする必要があるか、検討が必要。			

03-04-000015			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		7,255,742円										
子育て世帯臨時特例給付金事業			予算科目		会計		一般会計		款		3民生費		項		2児童福祉費		目		2児童措置費	
事業概要	事業の意図	支給対象者の経済的支援							平成27年度				単位	評価結果	○ 目的妥当性					
									支給決定者数						1,082	人	○ 有効性			
																	○ 効率性			
																	○ 公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	対象者へ周知、受付、支払と大きな問題も無く実施できた。							今後の改革改善案	平成28年度は実施しない。							課題とその解決策	平成28年度は実施しない。		

03-04-000016			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		2,137,270円						
保育等施設通園費補助金交付事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	4保育等施設費		
事業概要	事業の意図	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもの健全育成を図る。						平成27年度				単位	評価結果	○ 目的妥当性			
								出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合						79	%	○ 有効性	
																○ 効率性	
																○ 公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもの健全育成を図ることができた。				今後の改革改善案	子ども子育て支援法に基づいた制度であり、国の法改正や改革がない限り、改革や改善の余地はない。				課題とその解決策	平成27年度からの事業であり、現在、改革・改善箇所がない。					

03 子育て支援の充実

03-05-000001			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		335,098円									
第三保育園管理運営事業			予算科目		会計	一般会計	款	3民生費		項	2児童福祉費		目	4保育等施設費				
事業概要	事業の意図	保育活動を通して園での生活を楽しみ、心身共に健康で心豊かな園児を育てる。園行事等を通じて保護者との信頼関係を深める。					平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性					
							園生活を楽しんでいる子どもの割合					×	有効性					
												×	効率性					
												○	公平性					
総括と今後の方向性	全体総括	子供たちもケガや事故も無く、元気で伸び伸び生活しており、保護者との関係も、日々情報の交換を密にし、保育園活動に様々な協力を仰ぎ、相互理解が成されていると思う。しかし、地区の出生数が減少するなかで平成26年度の園児募集結果が0件で、在園児も卒園することで平成26年度から休園となる。					今後の改革改善案	入園の申込みがあった場合、きめ細かな保育を実践しているので内容は充実している。保護者との信頼関係も築けている。しかし、地区の出生数が減少するなかで26、27年度の園児募集結果が0件ある。県への休園届期間は引き続き届け出した。また、施設管理については予算を計上して継続して行く。					課題とその解決策	藤原地区の地理的条件を考えると町立保育園として存続したいが、申込者がなければ休園するしかない。将来的にも出生状況を見ると保育園に入園する可能性は極めて厳しい状況にある。				

03-05-000002			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		57,167,600円					
にいはるこども園管理運営事業			予算科目		会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育等施設費			
事業概要	事業の意図	・心身共に健康で心豊かな幼児を育てる。・乳幼児保育、幼児教育を理解してもらい子育てを応援する。・幼児とその保護者、地域住民に安全で充実した教育、保育の場が提供できる。・安全な保育、給食等の実施のため、施設、設備の改善、充実を図る。					平成27年度			評価結果	○	目的妥当性		
							園生活を楽しんでいる子どもの割合				95	%	×	有効性
													○	効率性
													○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案		当事業の主なものは保育サービスを提供する職員の人件費なのでこども園運営に関しては今後の入園児童の推移を把握し職員数を管理していく必要がある。・地域を巻き込んだ食育の取り組み。			課題とその解決策	保育サービスの精査、効率性などを考慮していく必要がある。・こども園の多様化が求められている現状や児童福祉法の観点から考察すると、現状の自園調理における完全給食の実施は妥当であると考える。						

03-05-000003			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		495,000,000 円						
月夜野地区こども園整備支援事業			予算科目		会計	一般会計	款	3民生費	項	2児童福祉費	目	4保育等施設費			
事業概要	事業の意図	子どもを安心して預けられる環境が整備され待機児童が解消される。					平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性		
							第1希望の保育園に入園できた人数					124	人	×	有効性
														○	効率性
														○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	本年度で施設整備が完了し、平成28年度より『つきよのこども園』が運営開始となる。(社)三峰会には努力していただき、安心して子育てと仕事の両立が出来る環境にしていきたい。		今後の改革改善案	本年度施設整備が完了し、平成28年度より『つきよのこども園』が運営開始となる。町の予算としては、幼稚園の運営に関するものがなくなり、想定通りスリム化された。(社)三峰会には健全運営に最大限努力していただき、安心して子育て支援と仕事の両立が出来る環境をつくりだしていただきたい。		課題とその解決策	施設整備は完了したが、計画段階では想定出来なかった(社)三峰会の借入金(148,500,000-)を運営しながら返済しなければならない状況となってしまった。子育てと仕事の両立ができる環境改善及び、町の予算のスリム化を継続するには(社)三峰会の健全運営への努力が不可欠である。町としてもこの事務事業の成果を最善のものとするためにどのような事をしなければならないか、考える必要がある。							

03-05-000004			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		1,493,840円											
一時預かり保育事業			予算科目		会計		一般会計		款		3民生費		項		2児童福祉費		目		4保育等施設費	
事業概要	事業の意図	保護者の傷病・入院・災害・事故・育児疲れ等に伴う心理的・肉体的負担の解消で、緊急・一時的に保育が必要となる児童に対して、保育園で保育することにより、保護者の心身の負担を軽減する。	平成27年度										単位	評価結果	×	目的妥当性				
			出産や子育てに不安を感じていない割合												30	%	○	有効性		
																	○	効率性		
																	○	公平性		
総括と今後の方向性	全体総括	にいはるこども園の待機児童が当該制度を利用していた実績もあり、有効に機能していた。	今後の改革改善案	待機児童等で一時保育を必要としている保護者は増えている。平成27年度の制度改正により子ども・子育て支援交付金の対象事業となりましたが、平成28年度から主な認定こども園が行うべき子育て支援事業となると同時に幼稚園型の一時的預かり事業を充実する。										課題とその解決策	一般型一時預かり事業を主な認定こども園が行うべき子育て支援事業となることで、子ども子育て支援交付金事業から外れるが、幼稚園型の一時的預かり事業において、保育時間の延長と夏期休暇中の預かり事業を行い充実させることで交付金事業の対象となる。					

03-05-000006		担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		300,000 円											
私立保育所延長保育促進事業費補助金交付事業																			
		予算科目		会計		一般会計		款		3民生費		項		2児童福祉費		目		4保育等施設費	
事業概要	事業の意図	保護者が時間に余裕を持って就業でき、安心して子育てができる環境になる。				平成27年度				単位		評価結果	○		目的妥当性				
						延長保育を受けた児童の数				4			人		○		有効性		
															○		効率性		
															○		公平性		
															○				
総括と今後の方向性		全体総括		就業形態の変化に対応した、延長保育制度は子育て支援に必要であるが、保育士の配置等から、延長保育に対応できない園も存在している。				今後の改革改善案		現在月夜野保育園の30分延長のみが対象であるが、保育士の増員等もう少し長時間の延長保育が実施できれば、保護者にとってより子育てがしやすい環境になる。また延長保育未実施の水上保育園でも、延長保育を行った方がよいと考える。子ども子育て支援新制度にともない延長保育の基礎部分については施設型給付費で支払うため加算部分が対象となる見込みである。				課題とその解決策		延長保育に対応した保育士の人件費コストを当該補助金で賄いきれない点である、子ども・子育て支援新制度の委託事業費で対応した。			

03-05-000009		担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ		事業費		1,294,420円						
民間保育園障害児保育事業費補助金交付事業														
		予算科目		会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費						
								目 4保育等施設費						
事業概要	事業の意図	障害児に対する質の高い保育の実施が可能になる。					平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性		
							障害児に対する保育の質が高くなったと感じる民間保育所				2	園	×	有効性
								○					効率性	
								○					公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	水上保育園に8月に入園し9月から療育手帳B2判定されたことに伴い、要綱に基づき補助金を交付した。障害児保育は、健常児以上の負担が掛かるので、水上保育園の健全な運営に寄与できた。	今後の改革改善案	町負担100%の事業であり、障害児保育の更なる充実を図るための保育施設への補助金である。施設型給付費に凌霄支援加算が見込まれるので今後廃止の方向も考えられる。	課題とその解決策	現状は障害児は、保育園ではなく、専門施設に入所しているケースが多いが、制度上障害児を受け入れる保育園の負担が軽減されることにより、障害児を持つ保護者が保育園に入園させることに抵抗が無くなる反面、町単独事業であるため、コストは増える可能性がある。								

51

03 子育て支援の充実

03-05-000013			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		4,642,178 円								
水上児童館管理運営事業			予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	5児童館費			
事業概要	事業の意図	健全・安全な遊びの場を与えることで児童の健全育成に繋がる。					平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性					
							延べ利用者数			6,992		人	×	有効性				
													○	効率性				
													○	公平性				
総括と今後の方向性	全体総括	4年生以上を対象とする学童保育の無い地域にあり、放課後や長期休暇等の児童の受け皿としての存在意義は大きい。しかし、利用者がほぼ固定している・幼児の利用は少ない等誰でも自由に遊べるという児童館としての機能についての再考や建物・備品・遊具等の補修・補充等も必要。移動児童館事業では、水上地区以外からの参加者もあった。下校途中で児童館に寄る児童がほとんどだが、低学年では寄り道等があったことから、1年生については当日利用者について学校から連絡をもらう等協力関係を維持できている。					今後の改革改善案	行事により参加者募集地区を検討し、利用者増を図る。小学校との連携を密にし、情報交換の機会を維持することで通路の安全や利用児童の把握に努める。建物や備品・遊具等を点検し、必要に応じて補修・補充等計画的に進める。(28年度は遊戯室床カーペット貼り替え予定) 保護者・町民の児童館への意見・希望等の把握に勤め、運営の改善や学童保育との関係等を検討してゆく。					課題とその解決策	水上地区以外の利用者が参加しやすい行事や開催場所等の検討。環境整備のための計画と予算の確保。				

03-05-000014			担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		12,278,857 円											
放課後児童健全育成事業			予算科目		会計		一般会計		款		3民生費		項		2児童福祉費		目		1児童福祉総務費					
事業概要	事業の意図	放課後、就労等の理由により家庭に保護者がいない小学生に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。							平成27年度				単位	評価結果	○ 目的妥当性									
									実利用延べ人数(月夜野わんぱくクラブ)						12,668	人	× 有効性							
																	○ 効率性							
																	○ 公平性							
総括と今後の方向性	全体総括	月夜野学童クラブは民間の活用により事業を行っており、地域からたちあがった運営委員会に運営を委託しているため、今後も現在の状況での事業を継続していく必要がある。また、新治学童クラブでは、夏休みが通常の倍の児童が利用するため、支援員の確保が課題となっているが、今後、資格を取得した支援員を配置するため、さらに職員の確保が難しくなっていくと思われる。どのクラブでも職員の確保が課題となっており、職員の処遇改善を検討する必要がある。							今後の改革改善案	平成27年度から、子育て新制度が始まり、町で放課後児童健全育成事業の基準を定めることとなった。今後、新たに規定した基準の運営がなされているか、検査等を町が行う必要があり、従来より詳細な確認や指導をすることが必要になる。							課題とその解決策	新制度からは、放課後児童支援員の配置が必要なため、5年以内の間に県が行う研修会に参加し、クラブの職員に資格を取ってもらう必要がある。また、障害児受け入れを積極的に行ってもらう必要もあるため、クラブ職員の人員確保について協力する。						

03-05-000017			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		9,922,119円						
月夜野幼稚園管理運営事業			予算科目		会計	一般会計		款	10教育費		項	5幼稚園費		目	2幼稚園費	
事業概要	事業の意図	○園生活を十分に楽しみ、心身共に健康で心豊かな 幼児を育てる。○幼児教育を理解し、安心して幼児を預け、子育て・PTA活動を応援する。				平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性			
						楽しんで幼稚園生活を送っている幼児の割合				100		%	×	有効性		
													×	効率性		
													○	公平性		
													総括と今後の方向性	全体総括	○日常の幼稚園教育は職員一丸となり、目標に向かって取り組んできた。○職員の資質向上と教育の充実を図り、つきよのこども園への滑らかな移行に向け、月夜野保育園との交流保育、職員研修に 努めてきた。	

03-05-000018			担当組織		子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		2,464,051 円								
月夜野幼稚園下牧分園管理運営事業			予算科目		会計	一般会計		款	10教育費		項	5幼稚園費		目	2幼稚園費			
事業概要	事業の意図	○心身共に健康で心豊かな幼児を育てる。○幼児教育を理解してもらい、子育て、PTA活動 を応援する。							平成27年度				単位	×	目的妥当性			
									心身共に健康で心豊かな 幼児に育っている割合				100	%	評価結果	×	有効性	
																×	効率性	
																○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	○日常の幼稚園教育は職員一丸となり、目標に向かって取り組んできた。○職員の資質向上と教育の充実を図り、つきよのこども園への滑らかな移行に向け、月夜野保育園との交流保育、職員研修に 努めてきた。		今後の改革改善案	1閉園の為、事業廃止				課題とその解決策									

03 子育て支援の充実

03-05-000019				担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		2,330,647円							
月夜野北幼稚園管理運営事業				予算科目		会計	一般会計		款	10教育費		項	5幼稚園費		目	2幼稚園費					
事業概要	事業の意図	○園生活を十分に楽しみ心身共に健康で心豊かな幼児を育てる。○幼児教育を理解してもらい、子育て、PTA活動を応援する。							平成27年度				単位	×	目的妥当性						
									楽しんで幼稚園生活を送っている割合				100		%	評価結果	×	有効性			
																	×	効率性			
																	○	公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	○日常の幼稚園教育は職員一丸となり、目標に向かって取り組んでいる。○こども園へのスムーズな移行に向け、月夜の保育園との交流保育、職員研修に取り組んできた。							今後の改革改善案	1事業廃止(平成28年4月、つきよのこども園開園)							課題とその解決策				

03-05-000020				担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		380,139円							
ファミリー・サポート・センター事業				予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費					
事業概要	事業の意図	会員同士で相互援助活動をする事で、育児負担が軽減され、育児と仕事の両立が容易になり、地域住民が子育て支援に参加し、地域全体で子育ての支援を行う事の重要性に対する理解が深まる。							平成27年度				単位	×	目的妥当性						
									まかせて・どっちも会員数				24		人	評価結果	×	有効性			
																	○	効率性			
																	○	公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	会員数はまだ少ないが、利用者も出てきた。会員養成講習受講者が少ないため、年1回の開催とし、沼田市のファミサポと相互に受講できるようにして、受講機会を確保し事業費も削減できた。交流会では利用者・提供者の話を聞くことで、今後の活動についての話題で会員同士の会話が盛り上がった。今後会員増・活動の活発化・会員間の交流の増進等、直接顔を合わせて効果的な行動を検討、始めて行きたい。							今後の改革改善案	会員数を増やし、相互援助活動を活発化出来るよう、広報活動や会員募集・養成・講習会、会員交流会等を実施してゆく。会員間での経験の共有、検討等の機会を作り、活動の拡大につなげて行く。対象年齢についても検討も							課題とその解決策	ラン配布やHPでの広報だけでなく、直接顔を合わせての説明会や会員からの口コミ等で広がるよう交流会・講習会等を行ってゆく。			

03-05-000021				担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		224,107円							
病後児保育事業				予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	1児童福祉総務費					
事業概要	事業の意図	利用する児童の安全が確保され、安心して保護者が預けることができる。							平成27年度				単位	○	目的妥当性						
									事業利用保護者数				0		人	評価結果	×	有効性			
																	○	効率性			
																	○	公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	問い合わせ・利用希望は数件あり、徐々に周知されてきている。利用者からは、「助かった。安心して預けられた。仕事を休まずに済んだ」と。設置場所が偏っているため利用しにくいとの声は多い。病児保育をして欲しい等の声があった(間接的に)。手続が大変なのもあるため今後も検討が必要。備品・図書類の充実を図り、今後の利用に備えた。							今後の改革改善案	利用者の声を載せる等広報に勤め、チラシの配布・他の事業との連携を進める等利用者増を図る。遊具・図書類等の補充や環境改善等予算計上を含め、計画・実行してゆく。							課題とその解決策	まだ利用者が少ないため、利用を促す方法を検討する。			

03-05-000023				担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		440,000円							
認可外保育所運営費補助金交付事業				予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	4保育等施設費					
事業概要	事業の意図	休日保育の運営							平成27年度				単位	○	目的妥当性						
									利用者数				46		人	評価結果	○	有効性			
																	○	効率性			
																	○	公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	認可外保育施設がようやく1つ運営を開始した。町内においてもまだ認知度が低く利用者も少数であるが、PR活動も努力しており、実際に需要があるものなのか、しばらく様子を見る必要がある。							今後の改革改善案	現状のまま事務を行う							課題とその解決策	まだまだ施設が存在が町内に知れ渡っていない状況である。広く周知することで、子育てをしている家庭が、土日の仕事を安心して出来るようになる。			

03 子育て支援の充実

03-05-000025			担当組織			子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		4,610,390 円							
地域型保育給付事業			予算科目	会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	4保育等施設費				
事業概要	事業の意図	国・県・町が運営費を負担することによって、保育等施設は運営が可能となる。					平成27年度			単位	評価結果	○		目的妥当性				
							地域型保育施設入所児童数			4		人	○		有効性			
													○		効率性			
													○		公平性			
総括と今後の方向性	全体総括	保育単価並びに各種加算額を適正に把握・適用し、町内外保育等施設に地域型保育給付費等の支出を行うことができ、健全な運営に寄与できた。					今後の改革改善案	児童福祉法に基づいた制度であり、改革や改善の余地はない。子ども子育て支援新制度により給付方法が変更されより負担額が増加される方向。					課題とその解決策	特に改革・改善は行っていない。				

03-05-000026			担当組織				子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		223,109,729 円													
保育等施設給付事業												予算科目		会計	一般会計		款	3民生費		項	2児童福祉費		目	4保育等施設費	
事業概要	事業の意図	国・県・町が運営費を負担することによって、保育等施設は運営が可能となる。						平成27年度				単位	評価結果	○		目的妥当性									
								町内私立保育等施設入所児童数				233		人	○		有効性								
															○		効率性								
															○		公平性								
総括と今後の方向性		全体総括		保育単価並びに各種加算額を適正に把握・適用し、町内外保育等施設に施設型給付費等の支出を行うことができ、健全な運営に寄与できた。						今後の改革改善案		児童福祉法に基づいた制度であり、改革や改善の余地はない。子ども子育て支援新制度により給付方法が変更されより負担額が増加される方向。						課題とその解決策		特に改革・改善は行っていない。					